



春野中だより

〈教育理念〉 自他共愛
〈学校教育目標〉・明るく・豊かに・たくましく

令和6年度 第9号

令和7年1月7日(火)発行

さいたま市立春野中学校

〒337-0002 見沼区春野 2-2-1

TEL 682-3951 FAX 682-3952

「この状況をいかにポジティブに考えられるか」

校長 永谷 和俊

新しい年が始まりました。新しい年が皆さま方にとって幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。また、本年も本校の教育活動にご理解をいただき、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

私は、昨年(2024年)の1月1日に能登半島地震を新潟県にて被災し、地震と余震で大変怖い一晩を過ごしました。今シーズンも家族やスキー仲間と同じ場所で宿泊をしましたが、到着日には、身体が思い出したかのように恐怖を感じ、軽いトラウマになっていることに気がつきました。能登半島地震の復興が、進んでいるのかいないのかを十分に現状を把握したり、理解をしたりしていません。また、その時に反省した災害に対する物や心の備えも当時よりおろそかになっているところもあります。改めて能登半島地震への復興を、自らも行動をとりながら願うとともに、日々の災害等への備えを見直したいと思いました。

◇

また、冬季休業中にも素敵な話題が3つほどありました。

ひとつ目は、体育の授業で3年生が創作したダンスが、「全国小中学校リズムダンスふれあいコンクール」に出場を果たしていましたが、審査の結果「審査員特別賞」という名誉ある賞をいただきました。

ふたつ目は、3年生の熊谷 香季(くまがい けやき)さんが浦和レッズレディースジュニアユースのレギュラーとして活躍し、高円宮妃杯で地区そして全国大会の決勝まで見事に決勝まで勝ち進み、準優勝となりました。

3つ目は、本校卒業生で現高3の清藤 優衣先輩の活躍です。バスケットの世代別日本代表でトッププレイヤー、また、福岡県の精華女子高のキャプテンとして活躍をしております。そして、高校バスケットの全国大会(ウィンターカップ)では、強豪を次々と倒してベスト4へと導いていました。全国制覇ももう少しで紙一重のところでした。

春野中で学んでいる子たちが、全国や世界に向けて活躍している姿が間近で感じられ、私たちや後輩にとって、とても励みになるものです。今後とも、春野中生と卒業生たちに益々の応援をよろしくお願いいたします。

◇

さて、本日、3学期始業式では、「この状況をいかにポジティブに考えられるか」というお題で「ポジティブ思考」について、簡単な演習を行いました。

例えばですが、「〇〇でよいプレイができなかった」「〇〇を壊してしまった」とか日頃の小さな問題があったとします。ネガティブ思考だと、「失敗した」「なんでこんなことをしてしまったのだろうと自己嫌悪」などになると思います。ある意味、正直な気持ちです。これをポジティブに捉えると、「学ぶ機会を得た」「これからは〇〇を意識していこう」「同じミスはしないぞ」「壊れたものや失敗したことで、大切だったことが気づいた。これまでありがとう」などとなります。同じ現象なのに、捉え方で違うものになります。では、次のような時にはどのようにとらえればポジティブ思考になるでしょう。

「今日の体育は、大嫌いな持久走だ！」

「受験で失敗したらどうしよう！面接緊張しそう！」

「明日は、大切な試合だ。相手が強そう！力が発揮できる自信がない！」

「明日も嫌な〇〇がある！行きたくない！やりたくない！」

他にもたくさんあると思います。『この状況をいかにポジティブに考えられるか』

どんなにポジティブに考えても乗り越えられないこともあります。ポジティブに捉えることで乗り越えられること、気持ちが楽になることもたくさんあります。特に3年生やその保護者の方々、受験期や先が見えない不安でネガティブ思考になりやすいと思います。どうか、少しでもポジティブ思考で乗り越えていただきたいものです。